

ブラジルの利下げについて

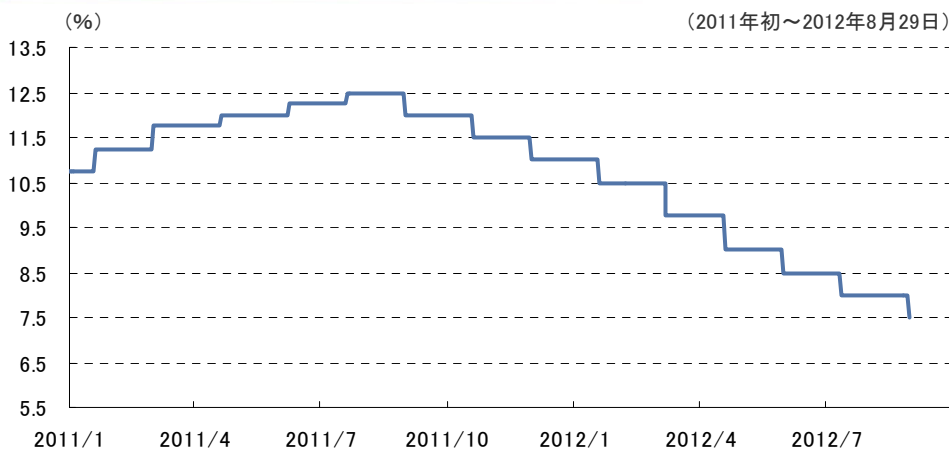
2012年8月30日

<ブラジル中央銀行:0.50%ポイントの利下げで政策金利は7.50%に>

ブラジル中央銀行は、8月28日(現地)から29日にかけて定例の金融政策委員会(Copom)を開催し、政策金利(Selic Target Rate)である翌日物金利の誘導目標を全会一致で0.50%ポイント引き下げて7.50%としました。中央銀行は2011年の8月から引き下げを始め、今回で9回連続の利下げ(合計5.0%ポイントの引き下げ)となります。なお、今回の利下げは大方の市場予想通りの結果となりました。

また、中央銀行は声明文において、「金融調整過程の継続」という文言を削除し、これまで実施した様々な政策効果の一部が現在の景気回復に表れており、当委員会は今後金融緩和を行うとしても限定的なものになると述べています。これはこれまでの委員会での「金融緩和を継続し利下げを行った」というスタンスとは明らかに異なる内容となっています。

ブラジルの政策金利の推移



(出所)ブルームバーグ

<利下げの背景>

現在市場で予想されているブラジルの2012年第2四半期の実質GDP(国内総生産)成長率は、前期比+0.5%であり、第1四半期(同+0.2%)からは改善が見込まれているものの、景気回復はまだ鈍い状況が続いています。足元で小売売上高などの消費は底堅く推移していますが、鉱工業生産などの生産は軟調に推移しているため、追加利下げを実施したと考えられます。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

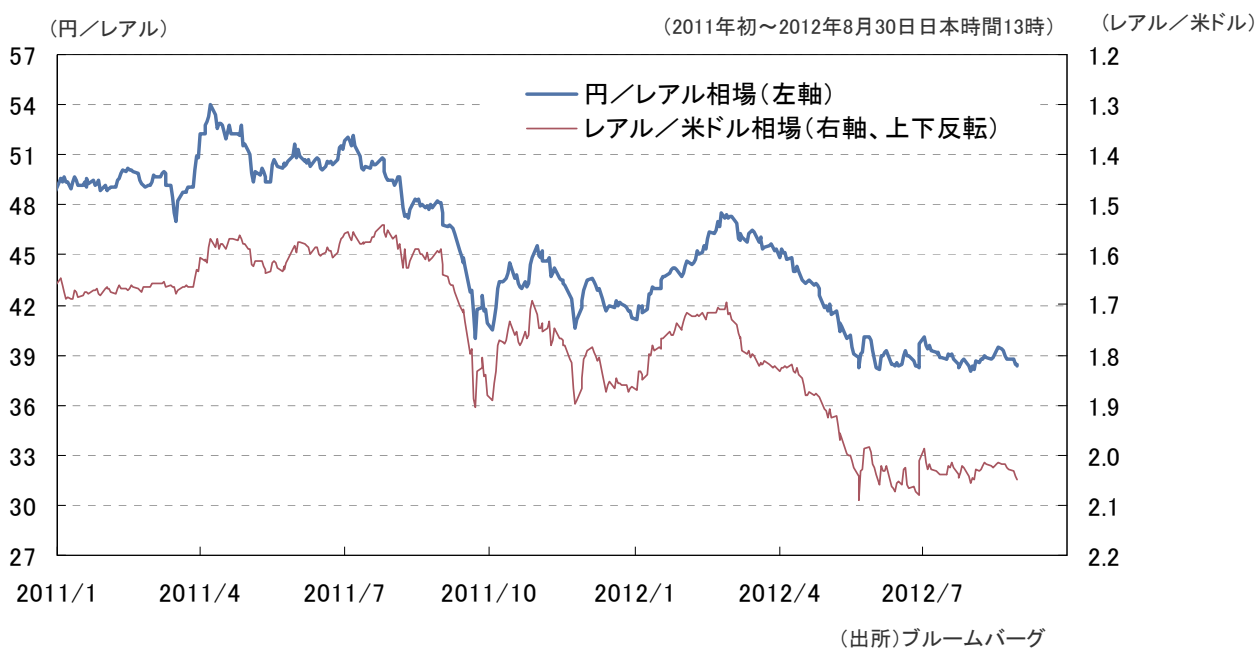
<今後の見通し>

これまでブラジルでは、利下げ、自動車減税や政府系金融機関の貸出金利引き下げ等の様々な景気刺激策が実施されており、今後これらの効果が発揮され、2012年後半以降大幅に景気は回復すると政府は見込んでいます。そのため、声明文にもみられるように、今回での利下げ打ち止めの可能性や次回の金融政策委員会で利下げを実施したとしても小幅にとどまることが想定されます。

債券市場については、金融緩和が終盤に近づいているとの見方から金利は強弱感が交錯する展開になることが考えられます。為替市場については、当局による自国通貨高対策への懸念はあるものの、ブラジル景気回復期待や近い将来の利下げ打ち止め期待からブラジル・レアルが買われやすい展開も想定されます。海外からブラジルへの直接投資は引き続き堅調であり、経済規模の大きな国の中で、依然として相対的に高い金利水準であることも変わりはありません。金融緩和や景気刺激策による今後の景気回復、そして安定的な経済成長への期待を背景に、引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

以上

ブラジル・レアル為替相場の推移



※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%（但し、最低2,625円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会